

2015 年京大文 [4]

$R(u, v, 0)$ とおくと、 $\overrightarrow{PR} = (u-1, v, -2)$ である。

直線 PR 上の点は、 $\overrightarrow{OP} + t\overrightarrow{PR} = (1+(u-1)t, vt, 2-2t)$ と表せる。

これを球面 S の方程式 $x^2 + y^2 + (z-1)^2 = 1$ に代入すると

$$\begin{aligned} \{1+(u-1)t\}^2 + v^2t^2 + (1-2t)^2 &= 1 & \{(u-1)^2 + v^2 + 4\}t^2 + \{2(u-1)-4\}t + 1 &= 0 \\ \{(u-1)^2 + v^2 + 4\}t^2 + 2(u-3)t + 1 &= 0 & \text{--- ①} \end{aligned}$$

t に関する 2 次方程式①が、実数解を持つから

$$D/4 = (u-3)^2 - \{(u-1)^2 + v^2 + 4\} \geq 0 \quad v^2 + 4 + (u^2 - 2u + 1) - (u^2 - 6u + 9) \leq 0$$

$$v^2 - 4 + 4u \leq 0 \quad \therefore u \leq -\frac{1}{4}v^2 + 1$$

以上により、 xy 平面上で R が動く範囲は $\therefore x \leq -\frac{1}{4}y^2 + 1$ ……(答)

図示すると右図の通りで、境界線を含む。

(注)

点 R が境界線を通るとき、直線 PR は球面 S に接する。

